



Contents

- 02 【特集】 新年度予算審議
- 06 議案審議 1月臨時会・3月定例会
- 09 代表質問・一般質問／市の考えを問う
- 18 議会活動レポート
- 21 委員会視察報告
- 22 公式SNS開設／広報広聴ビジョン策定へ
- 23 組合議会報告

PHOTO 近づく「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」
(水口東高校陸上部のみなさん)

KOKA city assembly report 令和7年(2025)05.01 vol.82

あなたとつなぐ

甲賀
こうが

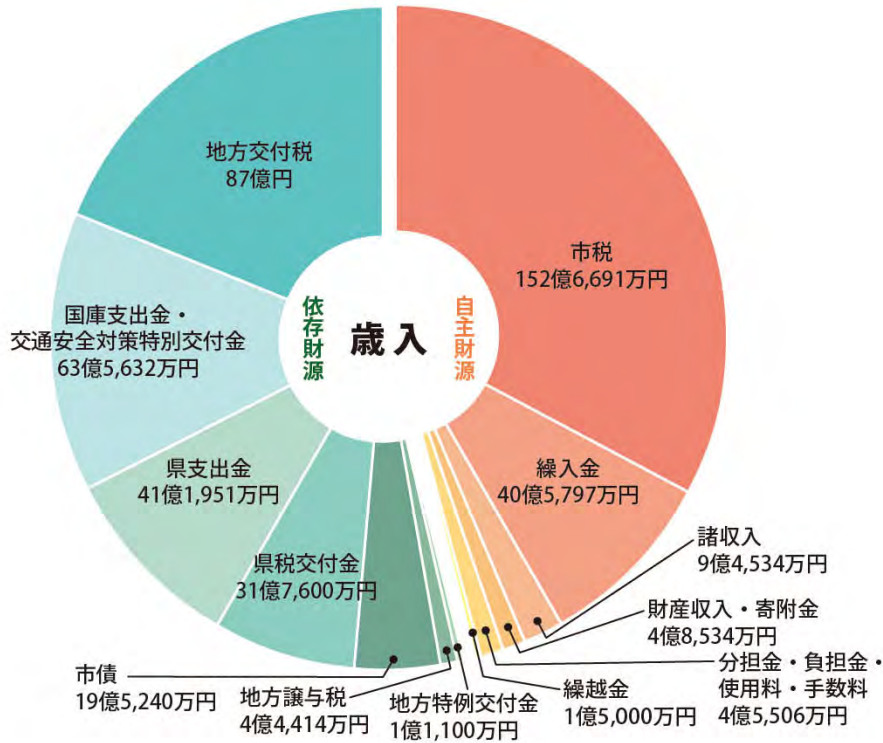
市議会だより

過去最大の462.2億円を審査

あい甲賀いつもの暮らしに

しあわせを感じるまちの実現予算

予算決算常任委員会では3月12日から18日までの5日間、令和7年度一般会計予算について審査しました。委員会では各部局別に質疑を行い、討論、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。



令和7年度一般会計予算は、対前年度比6億円増（1.3%増）の462億2千万円で、合併以降、過去最大の予算となっています。

令和7年度予算は「新しい豊かさ」にあふれる「甲賀スタイル」の実現に向けた予算であると共に、「若者・子育て世代に選ばれるまち」を目指し5つのプロジェクトが設定されています。（4・5頁参照）

歳入、歳出の内訳については円グラフの通りですが、第2次甲賀市総合計画第3期基本計画（R7～R10）を推進するもので、引き続き「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」の3つのテーマに基づいています。

委員会での主な質疑は次のとおりです。

主な質疑

予算規模について

Q 新年度予算は462億2千万円で過去最大となっているが、一方で財政難、財源不足と言われている。どのように対応したのか。

A 予算編成にあたり人件費の上昇、物価高騰の影響があり、施設の老朽化に伴う費用や特別会計への繰出しも増えており、財政難の中でできる限り切り詰めて予算を編成した。

事業見直しについて

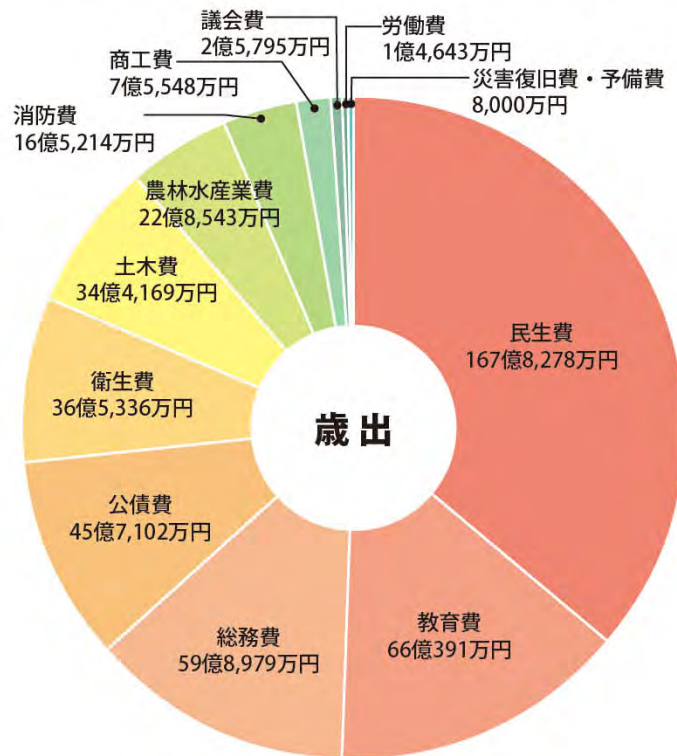
Q 市が言われるスクラップアンドリニューアルについての考えは。

A 財源不足の中、新規事業を増やすだけでなく、既存事業の改善や磨き上げに取り組んでいく。

Q 廃止された事業の中には必要なものもある。各部局でどのように判断されたのか。

A 財政担当としては、限られた予算の中で新たな事業もあるが、廃止も必要と考えている。

令和7年度一般会計当初予算



- 事業評価について**
- Q** 事業評価シートは委員会では審査する上で重要であり、目的等を経済シートで共有すべきでは。
- A** 決算時に事業評価シートの成果指標等についてご指摘いただき、新年度事業から新しい評価方法等ですっかりと評価する。
- Q** 令和6年度事業で未執行の事業はあるのか。執行管理は。
- A** 不執行の事業は3月補正のヒアリング時に予算減額し対応している。



- 基金について**
- Q** 「公共施設等整備基金」と「住みよさと活気あふれるまちづくり基金」について今後の見込みは。
- A** 「公共施設等整備基金」は小中学校を始めとする公共施設の老朽化等に備え、今後に必要な基金を積み立てていく。「住みよさと活気あふれるまちづくり基金」は合併当時から必要に応じて取り崩しており、なくなり次第、基金の運用は終了する予定。

賛成討論 奥村則夫議員

合併特例事業債が終わり、人件費の上昇や物価高騰の影響もある中、事業のスクラップアンドリニューアルにも取り組み、市民のニーズを把握した、若者や子育て世代に選ばれるまちの予算になっている。新規事業の中で、制度設計が明確でない、不十分なものがあつたが、運用の中で精査されることを期待する。市民のニーズに寄り添い、課題解決のための予算であると評価するため賛成。

反対討論 西山実議員

過去最大の予算規模となったが、所得格差が広がる中、物価高騰で生活が苦しいという声を多く聞き、生活実感からかけ離れている。新規事業では提案に至るまでの部局内の調査不足、他部局との連携、制度設計そのものが、市民の要望を積み上げたものになっているか問われている。大切な税金を活用して実施する事業は、制度設計を練って自信と確信を持って予算化・事業化に取り組むべきであり、問題点、課題を指摘し反対。

令和7年度 一般会計予算 5つのプロジェクト

令和7年度一般会計予算は人口減少対策の重点目標である「若者・子育て世代に選ばれるまち」を目指し5つのプロジェクトが設定されており、分野横断的に取り組むことで本市の強みを伸ばし、様々な課題の解決につなげることとされています。

また、第2次甲賀市総合計画第2期基本計画にあった「新しい豊かさ」を深化させ、新たに「甲賀スタイル」を定義し、新しい豊かさを追求していくとされています。各プロジェクトの主な事業を紹介します。

甲賀スタイルとは

地域のアイデンティティ、歴史、文化、風土などの「甲賀らしさ」をバックボーンに、便利で質の高い暮らしにより生み出した「余白」を、アート・デザイン・旅・食・学び・音楽・スポーツ・アウトドア・ボランティア・地域活動など、叶えたいライフスタイルで埋めていく暮らし方。

Check! ①若者・子育て応援プロジェクト

若者定住促進事業

…1,296万6,000円

若者の交流機会の創出や結婚相談に取り組むことで若者の市内定住に向けた機運を高める。

主な質疑

- Q 新規事業の「(仮)ワカモノ会議」の意見をどのように市政に反映するのか。
- A 若者の当事者としてのニーズ、課題感を含め意見を聴くことをイメージしている。

保育士体制強化事業(私立)

…2,061万6,000円

保育支援員により保育士の負担軽減を図ると共に、就職意識の向上や離職防止に取り組む。

主な質疑

- Q 昨年度の当初予算に比べ1,000万円近く減額となっているが。
- A 民間の保育支援員、スポット支援員などの配置に対する補助であるが実績に合わせて予算化した。

Check! ②こどもの可能性無限大プロジェクト

学習支援事業

…2,734万9,000円

生活困窮世帯等の「こどもの居場所」により、高校等への進学、自立につなげる。

主な質疑

- Q 委託先の社会福祉法人等との協議の頻度は。
- A 学習支援教室の主任サポーター協議を2ヶ月に1回、法人代表者との協議を年2回行った。

学校給食事業

…3億8,802万4,000円

学校給食を通じ食育につなげ、市費の負担により質・量を確保し安定供給につなげる。

主な質疑

- Q 市負担5,000万円と物価高騰分として4,000万円が分けて計上されているが内訳は。
- A 5,000万円は子育てバックアップ分で今まで通り質の向上を、4,000万円は物価高騰分として計上している。

Check! ③選ばれるエリア形成プロジェクト

貴生川駅周辺整備事業

…6,312万7,000円

官民連携によるエリア価値向上や、公共施設の再整備による都市機能の強化を図る。

主な質疑

- Q 杣川歩行者専用橋測量設計調査委託が2,830万円計上されているが、利用人数の見込みは。
- A 貴生川小学校児童の3分の2にあたる305名を想定。

公共交通利用推進事業

…3,965万4,000円

市民の移動手段を確保・維持するとともに、公共交通の利便性向上を図る。

主な質疑

- Q 定期券購入等補助事業に草津線利用者分300万円、信楽高原鐵道・近江鉄道併用利用者分450万円を計上されているが人数は。
- A 令和5年度のアンケート結果等から対象者は約600人と見込んでいる。

Check! ④企業連携・支援プロジェクト

長距離通勤補助

…480万円

市内企業の従業員の定着、継続雇用につなげるため、市内勤務地に長距離通勤する方に補助する

主な質疑

- Q 意見聴取した上で企画、制度設計したのか。
- A 市内企業、工業会の皆さんとの意見交換等を通じて、人材確保が最優先の課題と把握して検討を行った。

ワーク・ライフ・バランス推進事業

…361万円

働き方改革、職場の環境整備、女性活躍の推進など市内企業等への支援を行う。

主な質疑

- Q イクボスのネットワークが増える中で職員の不足はないか。
- A 全体の職員数が定員を下回る中、現状の2人を維持したい。

Check! ⑤安全・安心のまちづくりプロジェクト

災害対策事業

…2,112万7,000円

逃げ遅れゼロ作戦を展開し、防災意識の醸成と防災資器材や備蓄品の整備を図る。

主な質疑

- Q 逃げ遅れゼロ作戦の目標設定を参加率50%とした経緯は。
- A 令和5年度の逃げ遅れゼロ作戦の結果が50%であり、実績に基づき設定した。

多文化共生推進事業

…1,824万5,000円

多文化共生センターで外国人相談等の事業を展開し、事業者等との協力関係を構築する。

主な質疑

- Q 外国人労働者を雇用されている企業との連携は。
- A 日本語教室や地域コミュニティとの橋渡しを期待されており、国際交流協会と支援を整えていく。

Check! ⑥その他の令和7年度の主な事業

国スポ・障スポ開催事業関連

…3億2,193万3,000円

滋賀県で44年ぶりに開催される国スポ・障スポ開催の支援と環境整備を行う。

道の駅あいの土山再整備事業

…5,000万円

道の駅あいの土山のリニューアルオープンに伴う周辺整備（防災倉庫、ドッグラン整備）を行う。

信楽小学校改築等整備工事

…14億円

老朽化した信楽小学校校舎の改築工事を2年間に亘り実施する。（債務負担28億5,300万円）

こんな 議案を審議し 決めました

議案審議

令和7年第1回臨時会が1月27日、令和7年第2回定例会が2月14日から3月21日まで開かれました。議案・意見書は計49件で、慎重に審議しました。

1月27日
臨時議会



2月28日
議案質疑



3月21日
討論採決



- 予算 …………… 9件
- 補正予算 …………… 11件
- 新規条例制定 …… 1件
- 条例改正・廃止 … 15件
- 人事 …………… 1件
- 意見書案 …………… 5件

今号ではこの中から5つをpickupします。結果の詳細は8頁をご覧ください。

PICK
UP
1

1月臨時会

議案1号

甲賀市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案2号

甲賀市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

2件については賛成多数で可決しました。

こんな意見がありました

【人事院の給与勧告とは？】

労働基本権制約の代償措置として職員に対し、社会一般の情勢に適応した適正な給与を確保するものであり、民間準拠を基本に勧告を行っています。

今回の改正理由は国の特別職の給与改定に準じて期末手当を引き上げようとするものです。令和7年度の支給月数が年間3.4月分を0.05月分引き上げ、3.45月分とするものです。

反対討論

長引く物価高騰により、市民の生活は一層深刻さを増す中、令和5年度に続いて、令和6年度もまた議員の期末手当をさらに増額するという事は、到底、市民からの理解を得られるものではないため反対。

賛成討論

国で期末手当については上げていこうということで、上程されてきたものと理解している。議員報酬は報酬審議会で審査することとし、この期末手当等については条例改正して差し支えないと考えるため賛成。

PICK
UP
2

3月定例会

議案42号

令和6年度甲賀市一般会計補正予算(第7号)

議案43号

令和7年度甲賀市一般会計補正予算(第2号)

追加議案が最終日に提出され可決しましたが…

《追加議案》

道の駅 あいの土山整備事業予算

当初令和7年度で予定されていた国の補助が、事務ミスにより令和6年度事業として採択されたことから、5,000万円を令和7年度で減額する一方、令和6年度で増額補正するものでした。この年度付け替えにより、国から見込まれた540万円の交付税措置が無くなり、結果的に市の一般会計から計上することになりました。

質疑応答

Q

その原因は。いつ明らかになったか。

A

担当課の単純な操作ミスが要因。発覚から報告まで4日を要した。

Q

議会への報告が遅れた。再発防止策は。

A

この事態を検証し、報告がすぐに上がる、風通しの良い組織に向けて取り組んでいく。

チェック体制の強化とすぐに議会へ報告するように求めました

PICK
UP 3

議案18号 甲賀市史跡公園条例の制定について

新規 「甲賀市史跡公園条例」ができました

この条例は、史跡公園を設置することで、史跡の保存を図るとともに、市民が郷土の歴史及び文化を学び、体験を通じて郷土愛を育むことを目的としています。その一環として、地域開催イベントの会場利用等、市民と協働した活用が期待されます。今回は、「紫香楽宮跡宮町史跡公園」及び「紫香楽宮跡鍛冶屋敷史跡公園」が設置されました。

質疑応答

Q 第7条において、損傷等をさせたものに対する損害賠償請求権の放棄が、市長ではなく教育委員会に委任されている理由は。

A 文化財保護には専門的知識が必要であることから、例外的に執行委任を受けるものである。

PICK
UP 4

議案20号 甲賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数で、可決しました。

昨年に引き続き…

平成27年度から昨年度まで基金を活用しながら税率を据え置きとしていましたが、令和9年度の県の保険料統一に向けて、令和6年度税率引き上げに続き、令和7年度も各区分の税率の改正が必要となり改正するものです。

こんな意見がありました

反対討論

令和9年度に国保税率を統一することありきで算定していること、統一の法的義務はなく、市として主体性を示すべきである。やむを得ない状況は理解するが、国保加入者の負担増となるため反対。

賛成討論

県としての国保税率の統一化の合理性は理解できる。その上で、本算定を用いて、根拠を持って方向性を示しており、また、引き上げについては低所得者、多子世帯に対する配慮が認められることから賛成。

PICK
UP 5

議案37号 第2次甲賀市総合計画第3期基本計画を定めることにつき議決を求めることについて

議案38号 第5次甲賀市行政改革大綱を定めることにつき議決を求めることについて

2件の計画等については、全員賛成で可決となりました。

市政運営の最上位計画である第2次甲賀市総合計画第3期基本計画は、令和7年度から令和10年度までを計画期間としており、重点目標を「『オール甲賀』で目指す“若者・子育て世代に選ばれるまち”」としています。また、第5次甲賀市行政改革大綱も令和7年度から令和10年度までを計画期間としており、持続可能な自治体経営のための行政改革の方向性を示した基本方針です。

【議決事件とは？】

地方自治法の定める事項以外にも、市政の重要な計画等については、議会と市長等がともに市民に対する責任を担うという観点から、甲賀市において、下記の3つの計画については議会議決(賛成)が必要となっています。

- 甲賀市総合計画(基本計画)
- 甲賀市国土利用計画
- 甲賀市行政改革大綱

3月定例会議決結果

■ 全員賛成で可決・同意したもの

	番 号	提案者	件 名
予算	議案第12号	市長	令和7年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算
	議案第13号	市長	令和7年度甲賀市病院事業会計予算
	議案第14号	市長	令和7年度甲賀市水道事業会計予算
	議案第15号	市長	令和7年度甲賀市診療所事業会計予算
	議案第16号	市長	令和7年度甲賀市下水道事業会計予算
人事	議案第17号	市長	甲賀市副市長の選任につき同意を求めることについて
条例	議案第1号	議会運営委員長	甲賀市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第18号	市長	甲賀市史跡公園条例の制定について
	議案第19号	市長	甲賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第21号	市長	甲賀市小集落改良住宅条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第22号	市長	甲賀市福祉医療費助成条例及び甲賀市老人福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第23号	市長	甲賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び甲賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第24号	市長	甲賀市児童発達支援センター条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第25号	市長	甲賀市子ども・子育て応援団会議条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第26号	市長	甲賀市歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第27号	市長	甲賀市立学校施設開放条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第28号	市長	甲賀市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第29号	市長	甲賀市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第30号	市長	令和6年度甲賀市一般会計補正予算（第6号）
	議案第31号	市長	令和6年度甲賀市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
補正予算	議案第32号	市長	令和6年度甲賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
	議案第33号	市長	令和6年度甲賀市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	議案第41号	市長	令和7年度甲賀市一般会計補正予算（第1号）
	議案第42号	市長	令和6年度甲賀市一般会計補正予算（第7号）
	議案第43号	市長	令和7年度甲賀市一般会計補正予算（第2号）
その他	議案第34号	市長	指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	議案第35号	市長	指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	議案第36号	市長	指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて
	議案第37号	市長	第2次甲賀市総合計画第3期基本計画を定めることにつき議決を求めることについて
	議案第38号	市長	第5次甲賀市行政改革大綱を定めることにつき議決を求めることについて
	議案第39号	市長	財産の処分につき議決を求めることについて
	議案第40号	市長	市道路線の認定につき議決を求めることについて
意見書	意見書案5号	山岡	防霜ファンの更新等にも国の補助を求める意見書の提出について
	意見書案6号	奥村	災害発生時における信頼性の高い情報収集・活用体制の構築を求める意見書の提出について

賛否の分かれた議決結果

○…賛成、●…反対

議案等の名称	提案者	討論		会 派 名																		結果			
		反対	賛成	凧風会								自由民主党誠翔会					公明党		日本共産党				無会派		
				出口 雅之	西田 忠	瀬古 幾司	西村 慧	林田 久充	橋本 恒典	谷永 蕪二	田中 新人	橋本 律子	北田 麗子	中島 裕介	奥村 則夫	小倉 剛	田中 喜克	戎脇 浩	木村 眞雄	堀 郁子	西山 実		岡田 重美	山岡 光広	村木 慶太郎
令和7年度甲賀市一般会計予算	市長	岡田	奥村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可
令和7年度甲賀市国民健康保険特別会計予算	市長	山岡	中島	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可
令和7年度甲賀市後期高齢者医療特別会計予算	市長	山岡	木村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可
令和7年度甲賀市介護保険特別会計予算	市長	山岡	出口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可
甲賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	市長	山岡	西村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可
性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書の提出について	堀	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	可
陸上自衛隊霞庭野演習場で榴弾砲等実弾射撃訓練の中止を求める意見書の提出について	西山	西田	岡田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●	否
高額療養費制度における自己負担上限額引き上げの中止を求める意見書の提出について	岡田	戎脇	西山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	否

※田中将之議員は、議長のため採決に加わらない

各会派による代表質問



自由民主党誠翔会
なかしま ゆうすけ
中島 裕介

- 1 令和7年度予算編成方針について
- 2 5つの重点プロジェクトの初年度の取り組みについて
- 3 4つの視点の初年度の取り組みについて
- 4 「子育て」「地域経済」「福祉・介護」の三つのテーマについて
- 5 正木副市長の退任にあたって

公明党
きむら まさあ
木村 眞雄

- 1 市政運営の基本方針について
- 2 経済の見通し・本市を取り巻く状況について
- 3 こども・子育て支援について
- 4 教育の充実に向けて
- 5 若者・女性活躍について
- 6 公民連携について
- 7 防災・減災対策について
- 8 大阪・関西万博や国スポ・障スポ開催に向けて

日本共産党
にしやま みのも
西山 実

- 1 施政方針・新年度予算について
- 2 市民のいのちと暮らしを守る立場から国政の焦点と市長の政治姿勢について
- 3 災害から身を守る体制の抜本的強化、災害に強いまちづくりについて
- 4 市政課題について
- 5 投票所の再編について

凜風会
にしだ まこと
西田 忠

- 1 施政方針について
- 2 若者・子育て応援プロジェクトについて
- 3 こどもの可能性無限大プロジェクトについて
- 4 選ばれるエリア形成プロジェクトについて
- 5 企業連携・応援プロジェクトについて
- 6 安心・安全のまちづくりプロジェクトについて
- 7 地域経済について
- 8 「福祉・介護」について



公明党

木村 眞雄



第2次総合計画 第3期基本計画策定にあたって

質問

①前計画の継承ならびに新しい視点は何か。②「くらしの余白」の現状認識と、それを生み出すための施策や啓発について③「甲賀スタイル」実現に向けて行政がすべきことは。

回答

①人口減少対策である「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」のテーマに引き続き取り組む。その上で、新しい視点として、経済的・時間的なゆとり「くらしの余白」を生み出し、それを自分の叶えたいライフスタイルで埋める「甲賀スタイル」の実現に取り組む。②近年の物価高騰の影響もあり、市民生活における「くらしの余白」は十分ではない。よって、さらに市民生活に寄りそった施策を進め、啓発をしっかりと前に進める必要がある。③人口減少対策に取り組むことで、持続可能な自治体経営を図る。そのために、組織改革、規律ある財政運営を進め、最小のコストで最大の成果を生み出す必要がある。

経済見通しと本市の状況について

質問

①R7年度の経済状況の見通しと市税収入の見込みは。②合併特例債終了(R6年度末)後の新たな財源の確保は。③新年度予算の事業・施策でのポイントは。④市民生活における物価高対策をどう考えているか。

回答

①R7年度は賃上げによる所得増加や個人消費が増加、企業業績が堅調であることから税収増となる見込み。②産業振興や企業誘致、雇用の創出・定住化を進めて税収増に努める。また、国・県の補助金や有利な起債について、さらに情報収集に努め活用していく。③ワカモノ会議や若者ラウンドテーブルの創設、地域一体型オープンファクトリーの実施、こども基本条例やこども計画の策定、貴生川駅周辺整備事業、国スポ・障スポの開催、信楽小学校改築事業などに取り組む。④地方創生臨時交付金を活用して、補正予算を編成して、追加の支援策を実施する。

3. こども・子育て支援策について

質問

①新たに設置される「こども家庭センター」の取り組みとその効果は。②子どもの居場所の整備や支援をどのように進めるか。

回答

①センター設置に伴い、母子保健機能と児童福祉機能を一体化し、子どもの支援の関係部署をこども政策部に集約する。指示系統を明確にすることで、家庭に対して、切れ目なく、漏れなく、迅速に対応できる。②子ども食堂や多くの市民団体が活動され、支援の輪が広がってきている。安定的な運営ができるよう、対話を重ねて居場所づくりを進める。



自由民主党誠翔会

中島 裕介



令和7年度予算編成方針と 第2次総合計画第3期基本計画について

質問

令和7年度予算編成方針について①市長の施政方針にある「整」について市長の所見は。②市民の暮らしに「余白」を生み出し、「甲賀スタイル」を実現するために、市民の皆様に期待することは。③事業のスクラップ、リニューアルについて。

回答

①「整」という漢字をキーワードに選んだ理由は、現代社会における情報技術の急速な進展は、誰かが作った価値観を瞬く間に世界中に広げ、その内容を理解する間もなくそれが答えとなってしまいうような世の中を生み出しており、新しい物事を取り入れることは、組織を活性化するには必要だが、疑問を持たず、受け入れることは、成長や変化の機会を失うことになる。市役所も、常に市民の皆様提供する暮らしの質とは何なのかを問い続け、情報を整理し、サービスの提供者である自分自身の感性を高め整えることが大切だと感じ、整えるという漢字を今年の指針として選んだところ②総合計画第3期基本計画に記載している「新しい豊かさ」の概念を理解し、経済的・時間的なゆとり、暮らしの「余白」づくりに取り組み、地域のアイデンティティ、歴史、文化、風土などの「甲賀らしさ」をバックボーンに、生き生きとしたライフスタイルを実現することを期待③新たな事業を増やすよりは、「削る」、「減らす」、「伸ばす」、「変える」など、事業の改善や磨き上げによる取組みをバランスよく進めるとともに、事業の成果や課題を可視化・共有しつつ検証する、事業の精度、熟度を高めるスクラップ・リニューアルに注力する

若者・応援プロジェクトについて

質問

(仮称)ワカモノ会議・若者ラウンドテーブルをするにあたり、規模感、頻度、期間、それに対しての施策展開について。

回答

(仮称)ワカモノ会議は、市政運営にかかる若者目線のシンクタンクとして設置するもので、市内在住・在学・在勤の概ね18歳から30歳の若者で構成。オンラインプラットフォームの併用により、気軽に意見交換ができる仕組みを検討し、常設の会議体とする方針。[(仮称)甲賀市こども基本条例]の制定、[(仮称)甲賀市こども計画]の策定を予定する中で、「若者・子育て世代に選ばれるまち」の実現に向け、若者の意見や困り事を把握し、ニーズに応じた有効な施策を講じる。若者ラウンドテーブルは、同世代同士の交流により、「やりたいこと」を見つけ、最初の一步を踏み出す機会となる場を設けるための対話の場の費用の一部を負担する。この取組は「若者のチャレンジ」を継続的に応援し、公益性や課題解決、市民サービスの向上などにこだわることなく、最初の一步のハードルを上げないように配慮しながら、柔軟性を持たせ制度運用を心がける。



凜風会
にしだ まこと
西田 忠



市政運営の所信と主要施策の概要について

質問

本議会開会初日、市長の令和7年度市政運営の所信と主要施策の概要、今後の進め方について①市長の考える「選ばれるまち」とは。②「甲賀スタイル」とはどのようなイメージか。③コミュニティセンターの指定管理が進んでいるが。④「未来への投資」の実現により甲賀市がどのように変わるのか。

回答

①その地で育まれた歴史や文化が日常生活に溶け込み、その地で暮らす人々が、経済的、時間的な「ゆとり」、暮らしの「余白」を自身が叶えたいライフスタイルで埋め、「自分らしさ」を表現できる。そのような「まち」が「選ばれるまち」であると考えている。②いわゆる「便利な田舎」での暮らしに、歴史や文化などの地域のアイデンティティに彩られた「甲賀市らしさ」をバックボーンとしながら、叶えたいライフスタイルの受け皿が多様になるまちをイメージする。③市内18のコミュニティセンターのうち、その半分に当たる9地域が指定管理に移行し、利便性やサービス向上の声を多くいただき、利用者、利用料収入とも増加している。④甲賀土山インターチェンジ周辺を「新産業拠点」として位置付け、名神名阪連絡道路との整合を図りながら工業団地整備事業を推進、南北軸・東西軸の広域的な交通網を活かした、活力ある産業・交流都市の実現を目指す。また、貴生川駅周辺整備事業や虫生野東部及び寺庄南部の土地区画整理事業を推進し、定住人口の増加やJR草津線の利用促進を図り、甲賀市ならではの魅力発信拠点としていきたい。

若者・子育て応援プロジェクトについて

質問

会派視察で訪れた島根県益田市では従前の職業観に偏重したキャリア教育から、多様な価値観の中で様々な“しあわせの物差し”を身に着け、能動的に生きていく力を育む、ライフキャリア教育に取り組んでいるが所見は。

回答

本市でもキャリア教育や学校と地域が連携した活動を行っており、益田市のライフキャリア教育はそれらを掛け合わせたもので、今後研究を進め、本市での取組の参考としたい。

地域経済について

質問

①本年リニューアルオープンが予定されている道の駅あいの土山の進捗状況、運営体制、受け入れ準備状況は。②鳥獣害対策を要望する地域の声は極めて強い。

回答

①令和7年8月のオープンを目指し計画どおり進んでいる。組織運営体制の改革や物販飲食事業のブラッシュアップはもとより、本市の地域資源を最大限に活用した参加型、体験型のソフト事業を充実、選ばれる道の駅となるよう鋭意取り組んでいる。②通年での有害鳥獣捕獲事業の実施など、更なる捕獲強化を進める。



日本共産党甲賀市議員団
にしやま みつる
西山 実



国政の焦点と市長の政治姿勢について

質問

①平和も暮らしも押しつづす大軍拡はやめるべき、憲法9条を活かした外交努力こそが政治の役割ではないか。②国に対して核兵器禁止条約の批准・署名を求めるべきではないか。③被爆80年の節目にふさわしい平和の取組を。

回答

①国民の生命と財産を守るために必要な議論を国政の場において多角的に進められるべきだと考える。②国内1740都市が加盟している平和首長会議国内加盟都市会議を通じて、継続して内閣総理大臣に対し核兵器禁止条約に署名、批准するように要請を続ける。③広島平和記念事業、被爆体験者伝承講話会ならびに平和を願うパネル展を実施する予定であり、被爆80年の歴史をしっかりと伝えることが、次世代へ被爆の実相の継承、市民の平和意識の醸成につながると考える。

災害に強いまちづくりについて

質問

①避難所の充実と災害関連死を防ぐ対策の強化を。②「奥能登豪雨」を教訓に、豪雨災害への備えについて。③八潮市の道路陥没事故を受けて老朽インフラの課題は何か。

回答

①災害関連死を予防するために、簡易ベッドや段ボールベッドは、避難所の開設状況に応じて不足なく行き渡るよう備蓄数を順次増やしている。スフィア基準を満たせるよう、避難所での良好な生活環境確保について準備を進める。②地区ごとの浸水リスクや整備計画を示す「雨水管理総合計画」の策定に向けた検討を進めている。この計画に基づき、雨水幹線の整備などの浸水対策事業に取り組む。③今後、高度成長期に敷設された管路が一斉に耐用年数を迎えて、老朽化に伴う更新需要の増大や熟練技術者等の不足に伴う技術継承などが大きな課題になってくると考える。

投票所の再編について

質問

選挙管理委員会が再編の基準としている「3km、3千人」の昭和44年の自治省通知は、選挙人の利便を図るための「投票所の増設」について示したもの。これを統廃合・再編の基準にし、市民に押しつけるのは、将来に禍根を残すことになる。再編計画を白紙に戻し再検討すべき。

回答

昭和44年の自治省選挙部長からの通知は、投票区「分割」の基準として発出されたものであることを承知している。選挙管理委員会として、社会経済情勢の変化に伴う有権者の投票行動の変化、投票環境の向上、投票管理者や立会人の確保、風水害時への早期対応を踏まえた事務従事者の確保等の課題を解消するため、明確な再編基準がない中で、「3km、3千人」という基準を適正な選挙執行の規模の目安とした。

17人の議員が 市の考えを問う

第2回定例会の一般質問が3月3・4・5・6日の4日間に亘って行われ、17人の議員が質問しました。質問と答弁を要約した内容を通告順に掲載します。

たなか よしかつ 田中 喜克	1 日本遺産「リアル忍者を求めて」のストーリーに「信楽高原鐵道」新駅設置を 2 子ども議会で質問・提案された「子供たちの夢・願い」実現のあゆみ第1歩を 3 「市役所力の強化」に 経験豊かな甲賀市シルバー人材センターの会員の力を 4 甲賀市のまちづくり「組織力」、「職員力」を強化して市民の「夢や願い」の実現を
いとめ まさき 糸目 仁樹	1 コミバス運転手不足解消について 自動運転化実証実験を 2 農業従事者不足解消について 低負担農法の推進を
ほり いুকこ 堀 郁子	1 障がい者支援 2 少子化対策 3 多頭飼育対策への支援
おぐら つよし 小倉 剛	1 災害発生時の応急対応について 2 地域循環型資源の活用について② 3 安定型産業廃棄物処分場建設計画について
えびさわき ひろし 戎脇 浩	1 より良い教育環境を整えるための学校再編を 2 効率的な会計管理のあり方について 3 副市長の所信(初心)と決意を伺う
ふくい すずむ 福井 進	1 生活保護等の周知に関して 2 夜間中学校の開設について 3 保育士不足による待機児童等の発生について
おくむら のりお 奥村 則夫	1 これからの農業と農業従事者を守るために 2 公共交通コミュニティバスの推進について 3 伝統的酒造りのユネスコ無形文化遺産登録を受けて地場産業の地酒の振興について
でぐち まさゆき 出口 雅之	1 「甲賀市環境未来都市宣言」をした甲賀市のごみ減量化について 2 外国人住民との共生社会について
むらき けいたろう 村木 慶太郎	1 高気密高断熱政策について 2 信楽焼の振興について
おかだ しげみ 岡田 重美	1 介護支援専門員(ケアマネジャー)への支援について 2 甲賀市投票区域再編計画(案)について 3 コミタク・コミバスのダイヤ改正、土山地域のライドシェア導入について 4 南土山地区における安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について 5 主要地方道甲賀土山線の歩道整備
はしもと ひさのり 橋本 恒典	1 JR草津線の活性化について 2 甲賀市の下水道システムについて
はやしだ ひさみつ 林田 久充	1 第3期基本計画と市長マニフェストの整合について 2 工業振興にかかる具体的進捗について 3 貴生川駅南口官民連携交流拠点基本計画について
にしむら けい 西村 慧	1 定住人口になりうる転入者(U/Iターン者)数の把握について 2 市内における夜間帯の小児二次救急診療の再開について 3 例規の整合性の確保について
きただ れいこ 北田 麗子	1 小学校午前5時間制について 2 フェーズフリーを活かしたまちづくりについて
やまおか みつひろ 山岡 光広	1 県立信楽学園の今後について 2 「道の駅 あいの土山」の契約変更をめぐる 検証 3 市長の政治団体等について 4 第六次学校図書館整備5か年計画の目標達成について
たになが けんじ 谷永 兼二	1 多様性を尊重する社会の実現に向けた、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進の取り組み状況と今後の展望について
はしもと りつこ 橋本 律子	1 学びの多様化の推進について 2 機構(組織)の新たな考え

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



公明党

堀 郁子



障がい者の看取りまでの支援

質問

障がい者の保護者の方は自身の亡き後のお子さんのいく末について、大変に悩んでおられる。通所から看取りまでしてくれる施設運営をしているところなどを市へ誘致したり、地域の社会福祉法人と連携したりはいかがか。また災害が起きた時に障がい者の方への対応はどのように考えておられるのか伺う。

回答

看取りを見据えた対応は地域の法人与自然連携し包括的に進める。医療的ケアが必要な10名の方の個別避難計画を作成した。10施設ある指定福祉避難所との事前マッチングに取り組む。旅館組合や2ホテルと提携し対応する。

女性が働きやすい場所への支援

質問

少子化対策は2030年までが最後のチャンス、そのため若い女性が市内に住み、働きたい場所となるようえるばし・くるみん認定の推奨、認証企業のPRをしては。イクボス宣言企業がネット検索ですぐにヒットするような手立ては。早急に結果を出す事業としては。

回答

えるばし認定の啓発、くるみん認定7社ありPRする。イクボス宣言企業が市のHPで検索できるようにリンクを設定した。結婚支援のマッチングアプリなど実情に即した支援を進める。



自由民主党誠翔会

田中 喜克



子ども議会で質問・提案された「子供たちの夢・願い」の実現を

質問

オール甲賀で市民共々まちづくりに取り組まれる行政、子どもたちの提案を実施・実現できないか。

回答

子ども議会での提案はこれまでも、図書館の漫画コーナーの設置や横断歩道での歩行者用信号の改善、手作り観光ガイドの作成など多くの提案が実現できている。子どもたちの目線で感じる不安や課題を具体的にとらえ、独創的なアイデアで素晴らしい提案を庁内各部署でしっかり共有してまちづくりに活かしていく。

「市役所力の強化」に経験豊かな甲賀市シルバー人材センター会員の力を

質問

「職員の働き方改革」の一助として市の主要業務にシルバー人材センター会員の派遣を。

回答

シルバー人材センターには豊富な知識や長年培われた技術、経験をお持ちの方が多く在籍されており、市の主要な業務で活躍を頂ければ、複雑・多様化する地域課題の解決に向け、大きな一助となるものと考えている。高齢者等の雇用の安定等に関する法律の定めもあるが、シルバー人材センター会員の派遣・担当の在り方について続けて研究していく。



自由民主党誠翔会

小倉 剛



地域循環型資源の活用について

質問

①循環型農業への取り組みについて。②行政主導で(仮称)堆肥化協議会を設立してはどうか。

回答

①下水汚泥を肥料として活用する方法や市道等の除草で発生した草の堆肥化など廃棄される資源を有効に活用するシステムの構築を行い、農作物を栽培する循環型農業の確立に向け、関係部署、関係機関と連携を図りながら推進していく。②下水道汚泥等のエネルギー利用については、甲賀市地球温暖化対策実行計画に基づき、下水道汚泥等をバイオマス資源の一つと位置づけ、メタン発酵による発電の事業化に向けた研究を庁内関係部局が連携し実施することとしているので、その中で、議員ご提案の下水道汚泥等の堆肥化に向けた協議会の設立に関しても検討を進めていく。

安定型産業廃棄物処分場建設計画について

質問

甲賀市長の意見に対する事業者見解について。

回答

「環境影響評価方法書」や「環境影響評価準備書」の各段階において、周辺環境の保全や安全に対する徹底した審査が行われるよう、滋賀県知事に対して強く求めていく。



無所属

糸目 仁樹



コミバス運転手処遇改善と自動運転推進を

質問

運転手不足が原因でコミバス減便。処遇改善はできないか。令和2年3月議会提案の自動運転はその後どうか。

回答

昨年改定の改善基準告知で、休息が十分とれる運転スケジュールに変更。運行補助費増額で人件費改善にも努めている。自動運転の取組は、先行自治体と意見交換、県事業でウェブアンケート協力、県の実証運行事業に応募(不採択)がある。県事業の実証運行でも調査予定。

陸稲やひこばえの再生二期作等低コスト技術で米増産の推進を

質問

稲作従事者平均年齢が70歳に。次の20年はもうもたない。米生産の維持・拡大を狙い、水や設備等の負担軽減が見込める陸稲やマイコス米、刈取り後再生するひこばえ米収穫の再生二期作推奨はどうか。稲作農家の生産コスト削減、所得向上にもつながり、新規就農促進が期待できるのでは。

回答

ひこばえ米は一部の地域と条件下で収穫量が1.5倍になるが、米品質のばらつき、追加作業を要し収益が得にくい課題もある。陸稲は育苗ハウスや田植機が不要で、低コスト生産が見込めるが、水稻より収穫量が少なく特定病害虫に弱く管理が難しい。工夫と技術の向上が必要。



自由民主党 誠翔会

おくむら のりお
奥村 則夫



これからの農業と農業従事者を守るために

質問

①農業に対する市長の総合的な認識は。②耕作放棄地の実態は。③耕作放棄地対策は。④具体的な農家支援策は。⑤農業を絶やさないために、より手厚い農業支援と国・県への強い要請が必要ではないかと考えるが。

回答

①初期投資や農地取得、適切なコスト転嫁できない中であるが、甲賀農業振興地域整備計画書に基づいて持続可能な農業を目指す。②730ヘクタール。③地域計画による農地利用の最適化を検討。④新規就農者へ初期投資の経済支援や技術支援に加え、各分野の農業の活性化につながる支援をしていく。⑤充実強化と国・県へ強く要請していく。

公共交通コミュニティバスの推進について

公共交通コミュニティバスの利用状況と課題について確認をし、2024年からコミュニティセンターで購入できなくなった定期券や回数券をもう一度購入できないかと提言し、元に戻すことが難しいとしても、より利用者目線で使いやすい公共交通にすべきと訴えた。



自由民主党 誠翔会

えびすわ ひろし
戎脇 浩



より良い教育環境を整えるための学校再編を

質問

①市長の施政方針や会派代表質問の答弁から、小学校の再編を行う方向性は確認できた。また学校再編審議会からの答申を受け、学校再編は新たなステージに入ったと考える。第2次再編計画はどのように策定するのか。②予算削減が可能ならば、それは教育の質を高める予算に充てるべき。③児童にとって必要な競争や話し合い学習は、一定の規模が必要である。その環境を整えられていないことは、児童に適切な教育環境を提供していることにはならない。より良い教育環境に向けて、スピードアップを図るべき。

回答

①令和7年の1学期中を目途に、極めて小規模な小学校を中心としながら、第1次計画を引き継いだ計画として策定する。②一定の費用削減が見込まれることは把握している。教育の質の向上を図る。③児童数の減少傾向は続くと思込まれる。保護者や地域の皆様のご理解を得ながら、より良い教育環境の整備を図っていく。



凜風会

でぐち まさゆき
出口 雅之



「甲賀市環境未来都市宣言」をした甲賀市のごみ減量化について

質問

①エネルギーシフトの進捗状況は。②水産物の地産とは。③豊かで健康な森づくりとは。④環境に絡めた災害に強いまちづくりとは。⑤環境を意識した行動ができるひとづくりとは。⑥個人で今日から取り組めることは。⑦ごみ減量活動を手掛ける予定は。

回答

①太陽光発電は15施設に導入。②事業者が営む水産業はさらなる可能性あり。③甲賀市産木材の利用促進と管理による土砂災害防止。④災害時でも電気の使用を可能。⑤市民の行動変容及び意識啓発。⑥節電・節約などの心がけ。⑦ゴミの減量化やリユース事業も検討。

外国人住民との共生社会について

質問

①多文化共生センターの権限を拡充しては。②文化、習慣、伝統なども教養として学んでもらってはどうか。③できる限り「やさしい日本語」を使用しては。

回答

①これまで以上に外国人市民をサポート、相互理解を深め、センターの機能拡充の予定。②日本のルールやマナーを理解してもらう「生活オリエンテーション」の実施を検討。③すべての人が理解しやすい簡単な文章は有効である。



無所属

ふくい すずむ
福井 進



「生活保護制度」について

質問

①国が定める甲賀市の最低生活費と保護費はいくらか。②〈提案〉制度の周知とエアコン設置・受験料補助の拡充。

回答

①最低生活費は、家族構成等の状況によって国において定めている。一人暮らしの高齢者(65歳)の場合、最低生活費は6万9,670円で、年金等の世帯収入を差し引いた金額が保護費となる。②エアコン設置補助の市での実施は考えていないが、国・県に強く要望する。市で行っている受験料補助の拡充は検討したい。誰一人取り残さないために制度の周知を図りたい。

「夜間中学校の開設」について

質問

滋賀県初の夜間中学校が、甲西中学校夜間学級として開設された。①夜間中学校の目的。②学びを必要としている人への周知。③〈提案〉通学定期への支援。

回答

①夜間中学校は、中学校の未修了者だけでなく、不登校等で十分な教育を受けないまま卒業した方、外国籍の方等に教育の機会を保障するために設置された。②市内での潜在的ニーズは高く、庁内関係各課と連携を図り、必要としている方への周知に取り組む。③通学の状況を見て検討する。



凛風会

はしもと ひさのり
橋本 恒典



JR草津線の活性化について

質問 ①JR草津線の相次ぐ減便の影響に対する考えは。②今後の草津線の活性化と市のまちづくりの考えは。

回答 ①通勤通学の重要なダイヤが見直しされたことにより、市民や本市に訪れる方の利便性低下を招いているのみならず、駅周辺開発や沿線地域の地価、本市の税収への影響も懸念され、本市のまちづくりにも大きな影響があると考えている。②JR草津線は本市まちづくりの生命線として市民の重要な移動手段となっているとともに、関西圏と中部圏を結びリニア中央新幹線開通後のアクセス路線として関西圏にとっても重要な役割を担っている。県や沿線自治体、企業、関係団体、地域そして運行事業者であるJR西日本が一体となって利用促進対策を進め、貴生川駅周辺整備事業や沿線での企業誘致および住宅開発等を進めていく。

甲賀市の下水道システムについて

質問 八潮市の事故から学ぶべき教訓は。

回答 八潮市で破損した下水道管は耐用年数に至っていない状況で事故が発生したことから、管路の定期的な点検や計画的な改修を進める必要性を認識した。



凛風会

はやし ひさみつ
林田 久充



工業振興にかかる具体的進捗について

質問 ①19ヘクタールでのデータセンターの応募は無かったとのことだが課題は。②データセンターにこだわらず柔軟な対応は。③48ヘクタールで応募した県の産業用地開発事業の選定結果は。④市独自の支援策を持つ戦略が必要ではないか。

回答 ①業種が、限定されていることやどの程度の電力が確保できるかの2点が課題。②一定期間内に誘致できない場合、柔軟な対応を検討する必要がある。③高島市、大津市、東近江市が選定された。甲賀市は、選外の通知があった。④危機感を持ち、積極的な対策が必要。

貴生川駅南口官民連携交流拠点基本計画について

質問 ①どのような性格の拠点が望ましいのか。②夢の持てる拠点プロジェクトの考えは。③経済団体の反響はどうか。④用地買収を前提としているのか。

回答 ①コミュニティ、防災、子育て、共知共創、情報発信の交流施設としているが、必要機能を見極めたい。②民間投資をしてもらえるよう公民連携により熟度を上げたい。③ぜひ、協力いただきたい。④土地の取得が不可欠と考えるがその必要性については整理する。



無所属

むらき けいたろう
村木 慶太郎



高気密高断熱政策について

質問 ①国や県の状況は。②市内事業者に対しての方策は。③甲賀市商工会との連携は。

回答 ①住宅など断熱による省エネ化に向けた取組が推進されている。②断熱住宅工事が増加し、カーボンニュートラルの取組が促進されるよう引き続き検証し、取り組む。③商工会をはじめ業界団体のみならずとともに、断熱について、知識、技術力を高めていただく機会の創出など必要な支援をする。

信楽焼の振興について

質問 ①信楽焼産業の現状と今後の振興策について②窯元の存続と後継者育成支援について③陶器イベント時のパークアンドライドなどの交通渋滞対策について

回答 ①生産額はピーク時より85.2%減少している。後継者確保に重きを置き、力強く施策を推進する。②産業人材を育成する信楽窯業技術試験場、アート人材を育成する滋賀県立陶芸の森と連携し後継者育成支援に前向きに取り組む。③イベント主催者と、できる限りの協力をしていく。



日本共産党甲賀市議員団

おかだ しげみ
岡田 重美



投票所の再編計画(95から49に削減)について

質問 代表質問で選管委員長は「3km・3千人」の国の基準は、削減ではなく分割(増設)の基準であることを認められた。1月の説明会では「国の基準をもとに」と強調された。基準についての市民への説明は正確でなかったということか。

回答 国の基準の説明はしたが、統合の基準であるという意図での説明はしていない。

土山地域のライドシェア導入について

質問 利用料金は1エリア250円、鮎河から大野の3エリアでは片道750円、75歳以上の無料乗車券も使えずコミバスに比べ料金が上がる。料金を見直すべき。

答 10月の本格導入に向け意見を伺いながら検討したい。

南土山地先産廃処分場建設計画について

質問 ①処分場は県内最大規模。市民の不安に対する市の対応は。②甲賀市環境基本方針をふまえ、市として慎重な態度が必要。

回答 ①周辺環境の保全や安全に対し徹底した審査を県に求めていく。②住民の懸念を知事に対し、しっかり伝えていく。



日本共産党甲賀市議員団
やまおか みつひろ
山岡 光広



県立信楽学園の今後について

- 質問** 県が県立信楽学園の今後にあり方について廃止も含めて検討するとしている。果たしてきた役割について問う。
- 回答** 養護学校の進路先として重要な役割を果たしてきた障害児入所施設。昭和27年の開設以来、地元信楽町神山地区との交流もあり愛着のある施設。

市長の政治団体等について

- 質問** 岩永市長の政治団体である「岩永ひろき後援会」「社会活力研究会」の政治資金収支報告の事務担当者と「日本維新の会滋賀総支部」の経理責任者が同一人物。未だに維新と関係があるのか。
- 回答** 特に関係性はない。(再質問に)政治団体の所在地・事務担当者について近く変更手続きを行う。

学校図書館整備5カ年計画について

- 質問** 各学校図書標準冊数達成率は小学校で33.3%、中学校で0%。100%達成のために予算の増額を。また学校司書は市内21校に8名。国の指標1.3校1名の配置のための増員を。
- 回答** 図書整備は令和8年に小学校で47.6%、中学校で16.7%を目標に予算配分していく。司書は新年度1名増員。



凜風会
たになが けんじ
谷永 兼二



バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進の取組について

- 質問** ①多様性を尊重する社会の実現に向けた、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進について市長の所見は。②「心のバリアフリー」推進の取組状況は。③公民館から名称が変わりコミュニティセンターとなった施設のバリアフリー基準適合状況と課題、今後の改修計画は。
- 回答** ①本市がめざすのは社会的に弱い立場にある人を排除することなく、様々な声を生かしながら誰もが安心して助け合い暮らせるまちである。②基本的な人権を守る取組を進め、誰もが、互いの人権と個性を尊重し、いつのまにやら「心のバリアフリー」が甲賀市の風土となるよう取組を進めていく。③市内18のコミュニティセンターのうち、2階建ての施設は10施設であり、昭和56年以前に整備された施設は7施設となっており、その多くがバリアフリー基準を満たしていない。バリアフリー化は喫緊の課題と認識しており、特に1階に十分な交流スペースを確保できない施設については、公共施設の最適化や利用状況に応じた計画的な改修を進めながらも、並行して代替策等の検討も必要と考えている。



凜風会
にしむら けい
西村 慧



定住人口になりうる転入者の把握について

- 質問** 令和7年度のUIターン者数の目標値は？
- 回答** 現在の仕組みでは設定することが困難であると考えているが、他の取組事例を研究し、手法を検討したい。

市内における夜間帯の小児救急診療の再開について

- 質問** 夜間帯の小児救急診療再開に向けた市の所見は？
- 回答** 小児科医の確保は市の裁量では実現できない課題もあるが、若者・子育て世代に選ばれるまちであるためには安心、安全な医療の提供が不可欠であり、引き続き、県、公立甲賀病院、湖南市と再開に向けて協議を行なっていきたい。

例規の整合性の確保について

- 質問** ①本市が制定した例規の数は。②例規の整合性確保の取り組みは。
- 回答** ①12月27日時点で、条例271本、規則316本、要綱669本、規定122本、その他9本である。②適時性や適切性の確保が不可欠であり、例規マネジメントを今後一層推進していく。



自由民主党誠翔会
きただ れいこ
北田 麗子



小学校午前5時間制について

- 質問** 制度導入に当たっての見解は。
- 回答** 先進事例では1単位時間を45分から40分に短縮し、新たに生まれた時間を補充・発展・地域学など独自の教育活動に充当し、学びと生活の質の向上を図っている。また放課後にゆとりができることで教員の働き方改革にもつながる。本市においても前向きに検討していきたい。

フェーズフリーを活かしたまちづくりについて

- 質問** ①「いつも」と「もしも」の境目を無くすフェーズフリーという考え方の認識は。②フェーズフリーの考え方の可能性について伺う。
- 回答** ①日常生活における利便性や快適性を満たしたうえで、普段使いから防災に備える。という意味で、結果的に防災力の向上につながっている新しい防災意識の取組であると認識している。②日常の生活・日常の価値が優先されてきたこれまでの価値観と防災を見直す一つのきっかけとなるのではと考える。



《訂正とお詫び》

令和7年2月1日発行の市議会だより81号に下記の誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

P14 一般質問 木村眞雄議員

誤 今後の健康推進員の募集のあり方について



正 コミュニティスクール及び地域学校協働の推進について



凛風会

はしもと
橋本

りつこ
律子



学びの多様化推進 多様な連携どう図る

質問

①令和4年から、学びの場・第3の居場所が展開されてきた。夢の学習を例に、その実態と成果・課題について伺う。②生き方を学ぶための学習機会づくりと、地域との連携は。③人材活用をより推進するため、多様な主体の連携・協働の強化が必要だが。

回答

①コロナ禍も経て参加数も1891人から3000人へ増加。参加者の固定化・他団体との調整が課題だったが、協議を重ねている。“開かれ・繋がる社会教育の実現に向け人材発掘・養成”に繋がるといえる。②地域には多様なコミュニティを通して子どもたちと関わっていただき、ライフステージにおける、いい学びの場となる。③子ども・現役・外国人など参画いただくことにより、繋がりが生まれる。キャリア体験等もとりにいれることも貴重な学び。学校・地域との連携を基本とし、子どもも大人もより多様な繋がりを大切にしていきたい。

組織・機構改革あらたな考えで

質問

次の20年の展望の要因は、人づくり。どのような構想を。

回答

「市民と対話し・ともに考え、協働する職員へ」の視点を大切にし、職員一丸となり取り組む。

甲賀市議会基本条例を全員参加で検証中



議会基本条例は2000年の地方分権一括法の施行に伴い、地方自治体の「自己決定」「自己責任」が求められ、議会の議決責任を明確にするため平成25年に制定されました。制定から年月が経ち、この条例が、今の時代に合っているか見直しています。

現在は、条例の現状、課題、今後の取組について整理しています。主な検討項目は議会の活動原則、議員の活動原則、議決事件、討論による合意形成、委員会の適切な運営、議会広報の充実、議員の政治倫理などです。



グループにわかれて検証作業中

常任委員会

活動日誌

- 1月14日 調査 甲賀市地域情報基盤(施設・(株)あいコムこうか)の民間移行
報告 ICT推進ビジョン(原案)パブコメの実施、コミュニティセ
ンター(指定管理)利用状況、投票区域再編計画(案)の策
定方針など
- 2月10日 調査 雲井・柏木コミュニティセンター改築・改修の進捗、地域
報告 情報基盤の民間移行作業等の状況
第2次甲賀市総合計画第3期基本計画の策定状況、「表現の
まちこうか」実現に向けた取組、第5次行政改革大綱アクシ
ョンプラン(案)など
- 3月11日 報告 職業安定所の庁舎移転整備計画に伴う市有地売却、投票区
域編成審議会の審議状況

所管事務調査

雲井・柏木コミュニティセンター の開設現地視察

雲井コミセン

旧J A雲井支所を取得、施設改
築・改修を行い、雲井コミュニテ
ィセンター開設、センター内に自
治振興会事務所を置き、地域コミ
ュニティ活動・地域防災等の拠点
としました。

施設概要

鉄骨造、2階建て・延べ床面積4
50・13㎡、事務室・会議室等
柏木コミセン

施設の老朽化が著しい柏木公民館
の改築に合わせました。敷地内に
水口方面隊第3分団消防車庫・詰
所も一体整備。センター内に自治
振興会事務所を置き、地域コミュ
ニティ活動・地域防災等の拠点と
しました。

施設概要

木造、平屋建て・延べ床面積48
1・35㎡、事務室・会議室・調
理室等

報告事項

第5次甲賀市行政改革大綱・ 同アクションプランについて

本大綱は「第2次甲賀市総合計
画」、「同第3期基本計画」の行財政
マネジメント方針を補完し、行財政
分野の取組を推進する分野別計画に



新設の柏木コミュニティセンターを視察

位置付け、方向性と方策を明らかに
するもの。常任委員会では策定状況
について報告をうけました。

〇行財政マネジメント方針

- ①「組織力を最大化できる行政組織の
構築」による多様な課題やニーズへ
の対応
- ②「選択と集中」による規律ある財政
運営
- ③「行政評価」による透明性確保・事
業のスクラップ・リニューアルを実
施
- ④「公民連携の推進」による新たな市
民サービスの提供

この方針に基づき「持続可能な自治
体経営を図る」具体的な取組内容・方
策を実施計画で提示し推進します。期
間は令和7年度から10年度までの4年
間です。

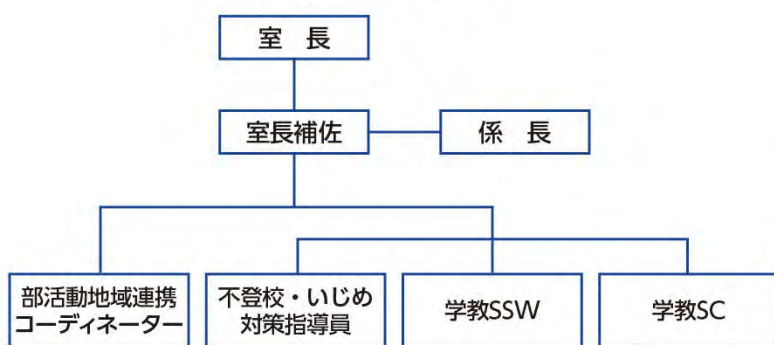
「表現のまち」の実現に向けた取組

甲賀市が目指す「新しい豊かさ」(甲
賀スタイル)の発信に、映画の製作・
上映を通じて2025大阪・関西万博や
国際映画祭、市内での上映会など機会
を以て、シティセールス及びシビック
プライドの醸成を推進します。

活動日誌

- 1月20日 調査 学びの多様化推進事業
報告 学校再編審議会からの答申など
- 2月 7日 調査 教育支援センター（現地視察）
報告 小中学校におけるプール施設整備及び水泳授業のあり方基本方針など
- 3月19日 報告 令和7年度学校教育の指針・令和7年度乳幼児教育・保育の指針など

学びの多様化推進室



所管事務調査

学びの多様化推進事業

昨年度から新たに設置された学びの多様化推進室の取組について1月20日に調査しました。

学びの多様化推進室が教育委員会事務局に設置され、体制強化と関係各機関との連携が図られています。また、不登校傾向や不適応傾向等で

不安や悩みを持つ児童生徒を支援するため、今までのSSW（スクールソーシャルワーカー）・SC（スクールカウンセラー）に加え学びの多様化推進室に配置されたSSW・SCにより市内全中学校への配置が可能になりました。併せて全小学校にスペシャルサポータールームを設置するとともに、スクリーニングケアサポーターも大幅拡大して不登校の未然防止が図られています。

教育支援センター現地視察

教育支援センターは学校に行きづらい子どもたちが様々な活動や体験を通して自信や生きる力をつけていく所で、旧貴生川保育園跡地にあります。月金は中学生、火木は小学生が対象で、お昼までの時間の中で学習タイムや活動タイム及び昼食の時間があります。センターの月間・年間計画と共に、きめ細やかな個別の支援計画により、こどもたちが安心して生活が送れるように努めているとのことでした。

報告事項

学校再編審議会からの

答申について

- 学校再編審議会は、昨年7月から5回にわたり開催され、
- ①第2次小中学校再編計画
 - ②再編計画の進め方
 - ③学校再編の実現に向けて考慮すべき事項

について審議されました。答申を受け今後、教育委員会において計画素案が策定される予定です。



教育支援センター

常任産業建設委員会

活動日誌

- 1月21日 調査 貴生川駅南口官民連携交流拠点基本計画（たたき台）
報告 コミバス・コミタクのダイヤ改正、甲賀市上下水道耐震化計画の策定方針、市内農地の非農地判断事務の実施など
- 2月 7日 調査 水口スポーツの森における工事の進捗状況（現場視察）、コ
報告 ミバス・コミタクのダイヤ改正
令和6年度甲賀市上下水道事業の進捗状況、甲賀市浄化槽維持管理補助金交付要綱の交付延長など
- 3月10日 報告 第2次甲賀市水道ビジョン（改訂案）にかかるパブコメなど

所管事務調査

貴生川駅南口官民連携交流拠点基本計画（たたき台）

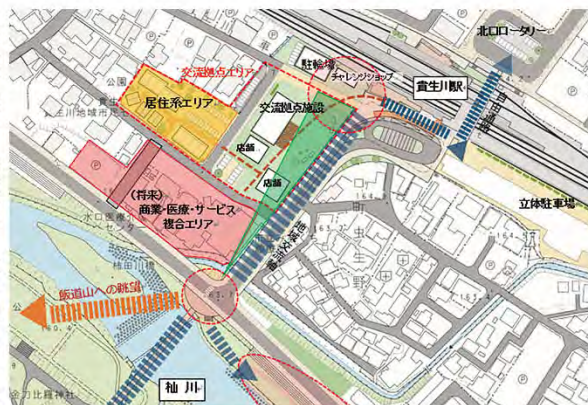
長期的展望を見据えた「貴生川駅周辺のまちづくり戦略」、将来のまちの姿を示す「貴生川駅周辺エリアデザイン」、交流拠点ゾーンに整備予定の「交流拠点施設基本計画」における基本的な考え方について調査しました。

Q 交流拠点と広場を整備することで、貴生川の魅力を広く市民全体に伝え、人々が自然と集まるための更なる工夫が必要ではないか。

A イベントだけでなく、常設として施設を使い、魅力を創出し、人が集まることを想定している。

Q 商業施設、図書館機能、宿泊交流施設などの記載がないが、もう半年〜一年、熟度を高めて検討してはどうか。

A 令和7年度は、公民連携計画検討、8年度から設計の予定だが、7年度は、そういったことを見極め、検討をしていく。



交流拠点位置図

※本検討案は、地権者の同意を得ているものではありません。
※本検討案は「たたき台」であり、今後の協議で変更することがあります。

コミバス・コミタクの

ダイヤ改正について

令和7年4月1日よりのダイヤ改正について調査しました。改正方針は、利用状況に応じたコミバス運行本数の見直し、草津線など駅からの2次交通の利便性改善、利用者の意見・要望等により改正されるものです。

Q 運転手不足や減便に対する今後の方向性や方針は。

A 運転手の高齢化により、今後も

人手不足が見込まれるため、新しい移動手段の活用などが必要で、課題解決のための研究を深め、あらゆる手段を講じていく。

報告事項

市内農地の非農地判断事務の実施について

農地が森林の様相となるなどの農地について、「甲賀市農業委員会非農地判断事務取扱要領」を策定し、「非農地判断」を実施。8月の利用状況調査から運用が開始されます。

Q 所有者、行政にとってのメリットは。

A 所有者は農地法による土地利用規制がなくなり、活用幅が広がる。行政にとっては、守るべき農地を明確化ができ、現況に即した台帳管理が可能となる。

Q 耕作意欲が低下し、荒廃化を助長することにつながらないか。

A 本来、農地所有者は農地を適正に管理する義務があり、荒らし得にならないよう委員会も継続的に保全管理や耕作再開に向けて指導していく。

総務常任委員会

令和7年1月28日

廃校Re活用プロジェクト

京都府福知山市

福知山市では、平成24年度に27あった小学校から9年の短期間で16の廃校が発生しました。

現在、行政利用2校、民間活用8校の計10校(62・5%)で活用が実現されています。

◎効果・約1億5000万円(売却・約7000万円、貸付・約8000万円)の歳入増。年間約1000万円の維持管理等の歳出減のみならず、新たな雇用や売却による固定資産税収入増等大きな効果を得ているようです。

◎持続可能で発展性のある7項目の「廃校活用方針」のもと公民連携で実施展開されました。



令和7年1月29日

◇姫路城「公共施設の防災施設」視察

兵庫県姫路市

◇「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」視察

兵庫県神戸市

厚生文教常任委員会

令和7年1月31日

身寄りのない人に対する権利擁護支援

愛知県名古屋市中

名古屋市中では、身寄りのない人への支援に取り組んでいます。

そこで、権利擁護支援に関するガイドラインを作成され、成年後見安心センターを中核機関として成年後見人制度にもつなげられています。また、エンディングサポート事業は高齢者の安心につながっているとのことでした。

子ども家庭センターの運営

三重県桑名市

甲賀市における子ども家庭センターの設置に向け、視察しました。

桑名市では令和3年4月から子ども総合センター(令和6年より子ども家庭センターに名称変更)を市役所内に設置されており、センターは母子保健係と家庭支援及び子ども発達・小児在宅支援室から構成され、人員配置は52名で、セ



ンター長(社会福祉士)、主幹(行政職)を始め各係・室に行政職や社会福祉士、保健師等が配置されています。同じフロアに集まっているため、情報共有が容易になったとのことでした。甲賀市議会では12月定例会において「子ども家庭センター条例」を可決しており、4月からの設置と運営に向け大いに参考になりました。

甲賀市議会公式 インスタグラム開設



★投稿をご覧ください！ URL : <https://www.instagram.com/koka.shigikai>



「甲賀市まちづくり基本条例」や「甲賀市議会基本条例」の理念に基づき、市議会としての「広報」及び「広聴」のあり方を定めた「広報広聴ビジョン」の策定を進めています。昨年の5月31日に引き続き、今回は2月18日に龍谷大学政策学部のみ友景士教授を訪ね

広報広聴ビジョン 策定へ龍谷大学へ

て、関連する例規を共に判読いただき、ビジョンの組み立て方等をご教授いただきました。市議会からは、田中將之議長、西村慧広報広聴委員長、中島裕介広報部長、西田忠広聴部長が出席しました。



只友教授に聞く

●「まちづくり基本条例」が求める議会の姿は。

市民の皆さんにより市政に関心を持っていただき、そして積極的な参加をいただくためには、市議会としても「広報（情報をお知らせする

こと）及び広聴（意見や要望を伺うこと）」が必要です。

●「議会基本条例」が求める議会の姿は。

議会は、「市民に対し議会の活動に関する情報を積極的に公開し、透明性を高め、説明責任を果たさなければならぬ」とされています。

また、「議会は、市民との意見交換の場を多様に設け、議会及び議員の政策立案能力を強化するとともに、政策提案の拡大を図るものとする」とされており、具体的な市民みなさんとの連携が記載されていることから、その行動に向けては指針となるビジョンが必要です。

組合議会報告

甲賀広域行政組合議会

令和7年第2回定例会 3月25日

条例改正6件、令和6年度一般会計補正予算1件及び令和7年度一般会計予算が提案され、審議の結果8議案とも全会一致で可決しました。

議案第10号 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【提案理由】

し尿収集運搬業務における手数料徴収方法及び業務委託料について、これまでの汲み取り券による前払い方式から、口座振替による後払い方式に移行するため、所要の改正を行うものです。

議案第13号 令和7年度一般会計予算

一般会計当初予算額は、37億2,757万7千円で、対前年度比較で1億9,000万2千円（5・37%）の増加。

〈衛生費〉

11億5,562万6千円対前年度比6,283万8千円（5・75%）の増。

〈消防費〉

21億1,768万円対前年度比2,189万7千円（1・04%）の増。

一般質問

戒脇 浩議員

●バイスタンダー支援制度の取組を求める

※バイスタンダーとは、救急現場に居合わせた人のこと

組合議会報告

公立甲賀病院組合議会

令和7年第1回臨時会 2月21日
令和7年第2回定例会 3月25日

令和7年第1回臨時会

補正予算等3議案が上程され、審議の結果3議案とも全会一致で可決しました。

全員協議会

令和6年度上半期に係る業務実績報告書の説明を受けました。

令和7年第2回定例会

一般会計予算等2議案が上程され、審議の結果2議案とも全会一致で可決しました。

令和7年度一般会計予算

予算額は、29億8,910万円で、対前年度比28%の増。予算増の要因は、人件費・材料費の上昇によるもの。2025年度高額医療機器・システム等整備計画による予算が計上されました。

令和6年度一般会計補正予算

1億4,934万円の減額は、看護学校授業料減免交付金・医療機器施設等整備費確定によるものです。



新設のカメラ認識システム駐車場（駐車券不要）

一問一答

Q.あなたの健康法は？



村木 慶太郎

無所属

一日一快食。一食だけ好きなものを好きなだけ食べる。



出口 雅之

凜風会

神社までのウォーキング、7時間睡眠、納豆を食べて、筋トレ後にプロテインを飲むこと。



奥村 則夫

自由民主党誠翔会

ジョギングやバトミントンで体を動かして気分転換と家庭菜園で取れた野菜を食べること。



田中 将之

公明党

太陽の下で動き、しっかり食べて眠る。ストレスは溜めずにゆったりと。



福井 進

無所属

市役所の階段で脂肪を燃焼して、大衆浴場でストレスの解消をしています。睡眠不足が大敵です。



西田 忠

凜風会

歩くこと。歩行を移動手段と捉えると苦痛ですが、ウォーキングだと思えば楽しみに変わります。



小倉 剛

自由民主党誠翔会

まずは己を知る。ストレスを溜めない。早起き。



田中 喜克

自由民主党誠翔会

毎月1日・15日、爽やかな朝風の中、街角に立ち、通り行く人に、車に、挨拶ができること。



西山 実

日本共産党

睡眠時間をしっかり確保すること。ストレスをためないこと。ボランティアで汗を流すこと。



瀬古 幾司

凜風会

ストレスを抱え込まないこと、犬の散歩や地域の共同作業などで楽しんで身体を動かすこと。



西村 慧

凜風会

天気の良い日は家庭菜園で畑いじり、その後、サウナと水風呂でリフレッシュを行います。



戎脇 浩

自由民主党誠翔会

市役所5階の議会フロアには、ひたすら階段で歩くこと。ゼイゼイ言いますが…。



木村 眞雄

公明党

ウォーキングです。日常のコースと共に遠出した時は街並みを散策します。新たな発見があります。



糸目 仁樹

無所属

自家製フナズシ（飯も含む）を定期的に食べ、冷たいものを口にするのを減らしています。



林田 久充

凜風会

三食をしっかりバランスよく摂ることとゆっくり食べることを意識しています。



谷永 兼二

凜風会

これまで特に健康に関しては意識をして来ませんでしたが、しいて言えばチャレンジすることです。



北田 麗子

自由民主党誠翔会

毎朝ランニング約4km、筋トレ、ストレッチ、体操をルーティンとしています。



岡田 重美

日本共産党

和食の基本「まごわやさしい」の食事を心がけています。ま：豆、ご：ごまなど。



橋本 恒典

凜風会

時々ですが運動（ジョギング）をしています。週1回以上、1回20分以上をめざしています。



田中 新人

凜風会

高校駅伝で区間賞を取り、以後スポーツと縁が切れなくなり、現在は、ウォーキングで体を維持。



中島 裕介

自由民主党誠翔会

朝に鹿深夢の森を散歩して、大鳥神社にお詣りして気持ちを整えること。



堀 郁子

公明党

運動が苦手でも何もしなかったのですが、1年半前からジムへ通うようになり、50肩が楽になりました。



山岡 光広

日本共産党

健康法ですか…。ストレスをためないことが一番ですが、ストレスたまりっぱなし。ストレス解消策模索中。



橋本 律子

凜風会

健康は宝！親から貰った資本であり、子・孫へ繋げ贈るもの。ストレス避け、笑いですませる性分。

6月定例会の予定

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
6/1	2	3	4 本会議 (第1日)	5	6	7
8	9	10	11	12 本会議 (第2日)	13 本会議 (第3日)	14
15	16 本会議 (第4日) 一般質問	17 本会議 (第5日) 一般質問	18 本会議 (第6日) 一般質問	19 委員会	20 委員会	21
22	23 委員会	24 委員会	25	26	27 本会議 (第7日)	28

※午前9時30分から開会します。

編集後記

▶ 前回までの特集は、市民活動と議会の政策連携につながることを意識してきました。今回は、市長の3期目スタートとなる令和7年度の予算について審議経過をお伝えします。また、議員の任期まで半年を迎える今、私達議員の議会活動と議会改革の考えをしっかりお伝えし、市民の皆様の声を反映して、新しい議会へとつながります。残り2回の議会だよりも、より多くの皆様の多様な参画の機会を得るよう努めます。

(広報部会員 林田久充)

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。